

2014年2月27日

南砺市長 田中 幹夫 様

日本共産党南砺市委員会

委員長 大浦 進

市議会議員 中島 満



子どもの医療費助成制度の中学生に対する通院費の
完全無料化を求める要望書

日頃、市政発展のためにご尽力されていることに敬意を表します。

昨年10月から中学生の医療費が入院においては無料とされました。そして平成26年度南砺市予算において、10月から中学生の通院費を現行の3割負担から1割負担にするとともに、「所得制限」も撤廃するとされました。

先日、当南砺市委員会が新年度予算の編成に伴う予算要望書を提出した際、市長は通院医療費においては、富山市のように1割負担を導入するような話をされました。そして今回の予算となりました。市長が先例とした富山市において、2月24日の会見において富山市長は、10月から子どもの医療費助成制度を中学生まで拡大し、当初は通院費の自己負担を小中学生ともに1割負担とする方針を示していましたが、市民の反対もあり、1割負担を撤回しました。

南砺市においても、1割負担というのは他の自治体が無料化をしているなかで、市民の同意を得られるものではありません。実施は10月であり、3月議会に変更することを含め再検討されることを切望します。

記

1. 中学生の通院医療費の1割負担導入を撤回し、完全無料化を図られたい。



以上

